



形成外科

初期臨床研修

専門医の指導のもとに以下の研修を行う

2年目：

- ①入院患者の担当医、外来診療補助、術前の検査、プランニング
- ②手術介助、易しい手術の執刀
- ③術後療法（ギプス法、スプリント法を含む）
- ④各種神経ブロック、伝達麻酔、腰椎麻酔
- ⑤マイクロサージャリ技術の習得（モデルを用いた）
- ⑥各種カンファランス、術前検討会（週1回）、抄読会（週1回）
- ⑦レジデント勉強会（春から秋、週1回、専門医が講師を担当）
- ⑧学会発表（地方会を中心）、論文執筆

後期研修

専門医の指導のもとに以下の研修を行う（主に京大病院、場合により関係病院）

3年目：

- ①入院患者の担当医、外来診療補助、術前の検査、プランニング
- ②手術介助、易しい手術の執刀
- ③術後療法（ギプス法、スプリント法を含む）
- ④各種神経ブロック、伝達麻酔、腰椎麻酔
- ⑤マイクロサージャリ技術の習得（モデルを用いた）
- ⑥各種カンファランス、術前検討会（週1回）、抄読会（週1回）
- ⑦レジデント勉強会（春から秋、週1回、専門医が講師を担当）
- ⑧学会発表（地方会を中心）、論文執筆

4年目：関係病院（認定施設、教育関連施設）で専門医の指導のもと同様の臨床研修

- ① 継続
- ② 小手術、外来手術（皮膚皮下腫瘍摘出、瘢痕形成など）の執刀
- ③マイクロサージャリ技術の習得
- ④外来担当（主に再診）
- ⑤学会発表、論文執筆、各種勉強会・カンファランス

5年目：

- ① 継続
- ② 外来初診・再診患者の診察担当
- ③手術執刀（専門医取得のため、再建外科、各種皮弁形成、先天異常など）
- ④学会発表、論文執筆

6年目：

同上

習得可能な主な形成外科手術手技

3年目：

- *皮膚腫瘍の単純切除
- *採皮部，採骨部などの処理
- *その他平易な手術の執刀
- *顔面手足軟部組織損傷のプライマリケア

4年目：

- *遊離植皮術
- *皮弁作成術
- *顔面骨骨折観血的整復術

5年目：

- *眼瞼下垂症手術
- *皮膚軟部悪性腫瘍摘出および再建，所属リンパ節廓清術

6年目：

- *先天異常（顔面，手足）症例の執刀
唇顎口蓋裂，小耳症，多指症，合指症
- *再建外科症例（マイクロ含む）の執刀
頭頸部癌切除後再建，乳房再建

卒後研修の流れとその後のキャリア

